四国化成

ハイポルカ

下水・し尿・産業排水処理用　高活性微生物・酵素剤

余剰汚泥減量システム **オーディライト**

環境技術
実証事業
ETV 環境省

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証番号　020 - 1103

第三者機関が実証した
性能を公開しています
実証年度 H23
www.env.go.jp/policy/etv

ハイポルカWB バルキング防止・解消用

特　長

●フロック形成菌を豊富に配合しています。化学的凝集成分を配合していないため、膜分離型浄化槽(MBR)のシーディング剤としてもご使用頂けます。
●フロック形成菌が優占種となることにより、活性汚泥の沈降不良トラブルを未然に予防します。
●糸状菌が異常繁殖している場合は、「バルハンター」で糸状菌を駆除した後にご使用下さい。

ハイポルカCR 脱窒素促進用

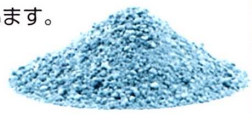
特　長

●高い脱窒素活性を有する脱窒素細菌群を配合しています。
●生物学的窒素除去プロセスにおいて脱窒素反応を加速することにより、窒素除去機能を安定させます。
●し尿処理場において、浄化槽汚泥比率が高くなり、低負荷状態になっている場合に使用することで処理が安定します。

ハイポルカ・ニューWS 大型施設用シーディング・維持管理用

特　長

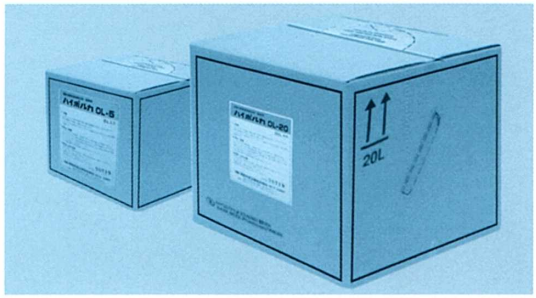
●栄養剤を配合したシーディング微生物剤です。添加量の約50%が速やかにMLSSに変換します。
●新規の立上げ、古くなった活性汚泥の作り直し、長期間休止時の維持管理用として、幅広くご使用頂けます。
●顆粒になっていますので、投入時の粉立ちガ少なくなっています。



ハイポルカOL 油脂分解促進用・維持管理用

特　長

●油脂分解酵素に油脂分解菌を配合しています。
●油脂分解酵素を主成分にしていますので、固形化した動物油などの液状化の促進や、汚泥の中に蓄積した油脂分の分解にも速効的効果を発揮します。
●液体品であるため、定量ポンプによる連続注入が可能です。



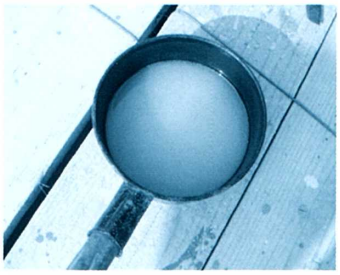
ハイポルカS、ミクロフローラCNP 膜分離型浄化槽(MBR)のシーディング

使用薬剤

ハイポルカS(シーディング用微生物剤)
ミクロフローラCNP(活性栄養剤)

特　長

●膜の目詰まりを起こし難い汚泥を速やかに調整できます。
●目詰まりの原因となるような凝集成分等は含有していません。
●前記「ハイポルカWB」も同用途にご使用頂けます。



※MLSS:3,000mg/Lの汚泥を調整する際には、ハイポルカS:150mg/L、ミクロフローラCNP:5,000mg/LをMBR槽に添加する。

オーディライトシリーズ 余剰汚泥減量用

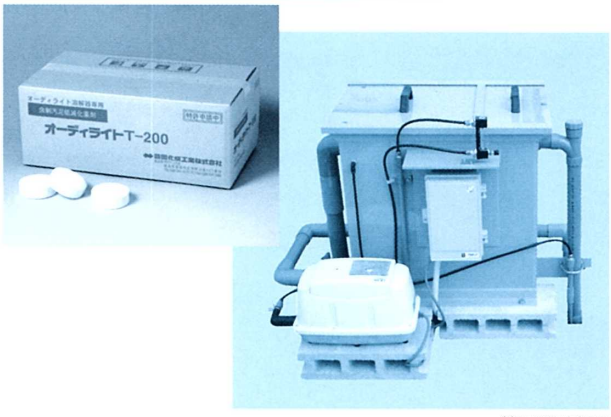
環境技術実証事業 ETV 環境省
小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証番号 020－1103
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H 23
www.env.go.jp/policy/etv
オーディライトは平成23年度の環境省「環境技術実証事業」の対象技術に選定され、その実証結果は上記同省ホームページに公表されています。

オーディライトシリーズは、薬剤と専用溶解器を用いた余剰汚泥の減量システムです。
①余剰汚泥の処分コストが高い　②余剰汚泥を濃縮したスラリーで引抜き処分している
③高いMLSSになってしまい困っている　④糸状性バルキングが起こるため、MLSSを高くできない
などの問題を抱えている現場に適しています。

オーディライトP

定量供給型溶解器

オーディライトT-200

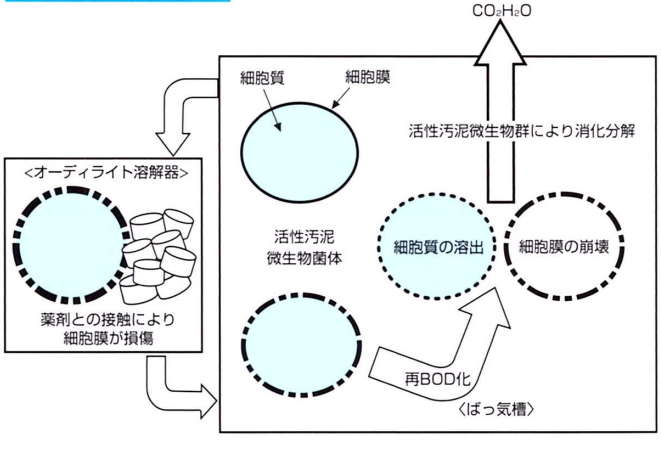


簡易型溶解器

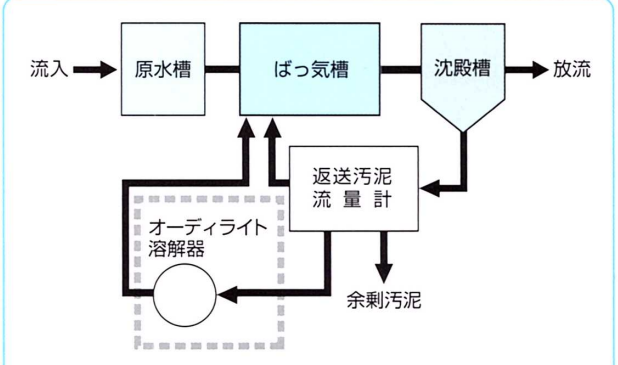
特　長

●初期投資が安価である。
溶解器はコンパクトかつシンプルな機構ですので、高額の初期投資は不要です。
●確実な汚泥減量効果を実現。
オーディライトにより効果的な汚泥の溶菌、再BOD化が行われますので、確実に汚泥減量が達成できます。
●コストパフォーマンスが大きい。
ランニングコストは薬剤費とブロアーの電気代だけであるため、大きなコストメリットが生じます。
●簡単なメンテナンス。
日常のメンテナンスは溶解器に持ち込まれる異物の清掃と薬剤の補充のみです。メンテナンスに手間がかかりません。

メカニズム



フローシート



（注）返送汚泥ラインにオーディライト溶解器を接続できない場合は、ばっ気槽に接続することができます。

実施例

	H農集排	N農集排	I農集排	I浄化センター
処理方式	OD法	OD法	連続流入間欠ばっ気	OD法（下水）
計画水量（m^3/日）	380	690	297	1,000
実処理水量（m^3/日）	260	520	295	150
薬剤使用量（錠剤kg/日）	1.5	2.2	1.5	1.0
薬剤費（円/水量m^3）	8.7	6.3	7.6	10.0
専用溶解器償却費（円/水量m^3）	0.2	1.4	0.1	0.3
汚泥処分形態	濃縮汚泥	濃縮汚泥	濃縮汚泥	脱水ケーキ
導入前汚泥発生量（DSkg/水量m^3）	0.101	0.068	0.089	0.133
汚泥処分費単価（円/DSkg）	283	320	700	125
導入前汚泥処分費（円/水量m^3）	28.6	21.8	62.3	16.6
最終到達減量率（%）	61.6	53.0	57.3	40.5
導入後汚泥発生量（DSkg/水量m^3）	0.039	0.032	0.038	0.079
導入後汚泥処分費（円/水量m^3）	11.0	10.2	26.6	9.9
コストメリット額（円/水量m^3）	8.7	3.9	28.0	▲3.6
コストメリット額（千円/年）	826	740	3,015	▲197

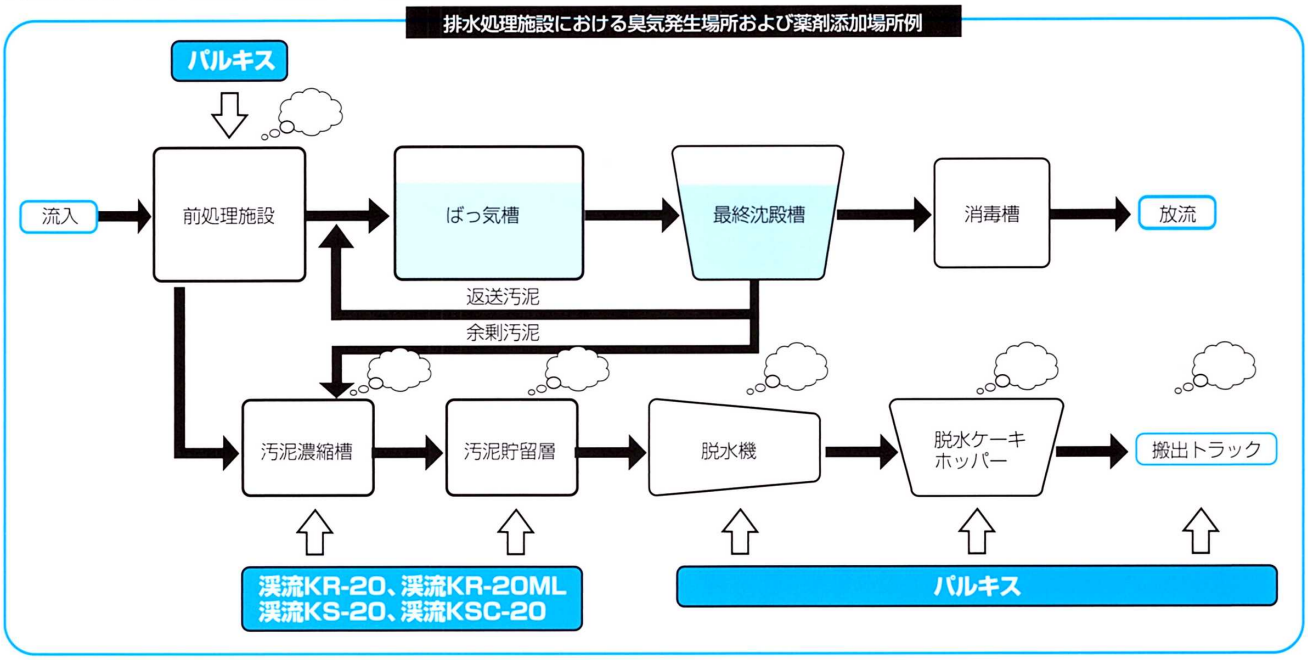
（注）
コストメリット額は、汚泥処分費のコストダウン額から薬剤費、専用溶解器償却費を引いて求めたもので、汚泥処分に関わる労務費、設備費、その他の薬剤費等のコストダウンは含まれておりません。

渓流シリーズ 速効性強力脱臭用

パルキスシリーズ マスキング用

対象臭気、求められる速効・持続性、また使用方法によって複数の銘柄から選択頂けます。

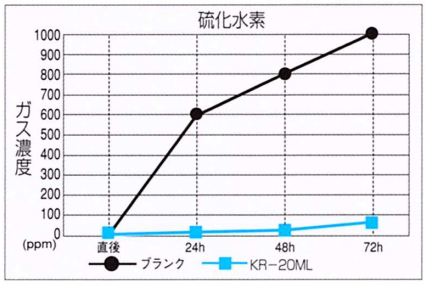
排水処理施設における臭気発生場所および薬剤添加場所例

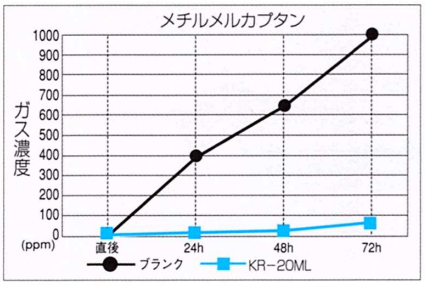


実施例

濃縮汚泥に対する添加例

渓流KR-20MLを300mg/L添加後、脱水ケーキを作成、35℃の恒温室にて24時間ごとに計測を実施しました。
汚泥濃度　46.200mg/L





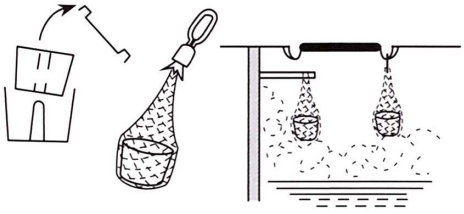
アワセンサーシリーズ 各種消泡用

シリコン系
液体アワセンサーLS

アルコール系
液体アワセンサーLE

シリコン系（固形）
アワセンサーH

薬剤の使用例　アワセンサーH



●アワセンサーHを付属のネットに入れ、発泡している場所の水面上で泡に接触するように設置して下さい。

特　長

●発泡原因に応じて最適な銘柄から選択頂けます。

警告

■銘柄
渓流KR-20、渓流KR-20ML、渓流KS-20、渓流KSC-20、
バルハンターG、バルハンターT-200、バルハンターST-50
オーディライトT-200、オーディライトP

取り扱い上の注意

パワーフロックシリーズ　沈降不良トラブル解消用

汚泥との相性、また使用方法によって5つの銘柄から選択頂けます。

汚泥沈降促進剤(汎用)
パワーフロックM-127
特　長
●沈降不良トラブル全般に、幅広く効果を発揮します。

放線菌スカム解消剤
パワーフロックND-110
特　長
●放線菌によるばっ気槽の発泡および沈殿槽でのスカム浮上現象を解消します。

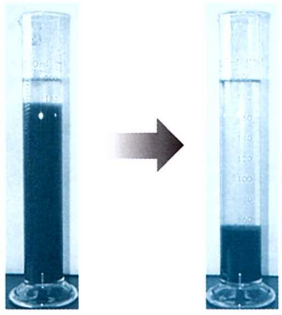
高粘性汚泥用沈降促進剤
パワーフロックL-119
特　長
●高粘性汚泥などの沈降性を改善します。
●糸状菌の抑制効果を兼ね備えていますので、単独または「バルハンター」と併用で糸状性バルキングの根本原因の解消用としても使用できます。

完溶型沈降促進剤
パワーフロックM-130
特　長
●水に完溶するので、定量ポンプによる連続注入が可能です。

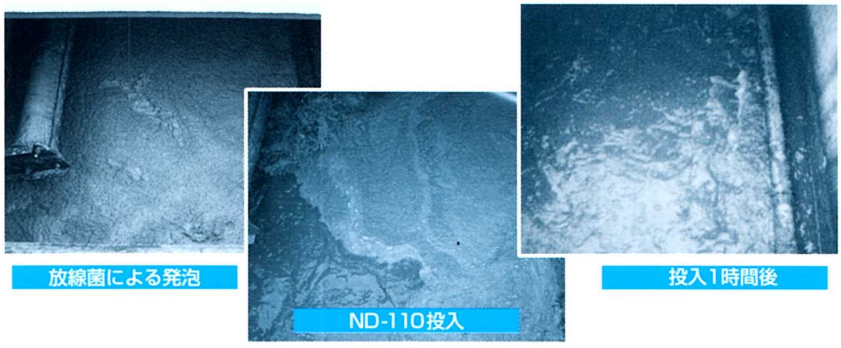
沈降不良慢性化現場用
パワーフロックL-200
特　長
●沈降不良が慢性化した汚泥には、100～200倍希釈液をばっ気槽下流部に連続注入することで、汚泥の流出対策とすることができます。
●使用する場合は連続注入設備をご準備下さい。

パワーフロックの沈降性改善効果

薬剤投入前　薬剤投入1時間後



ND-110のスカム解消効果



放線菌による発泡　ND-110投入　投入1時間後

(沈殿槽で正常に沈降するようになるので、汚泥引抜量を増やし、汚泥日令を短くして系外へ排除して下さい。)

バルハンターシリーズ　糸状性バルキング解消用

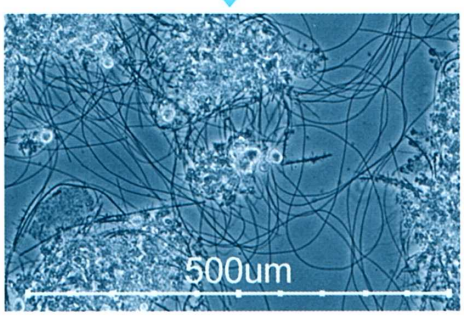
塩素系速溶性駆除剤
バルハンターG
特　長
●ばっ気槽に直接投入するため、短期間に確実な効果が得られます。

※注意
バルハンターGの使用により、糸状菌などの死骸で処理水が濁ったり、ばっ気槽が発泡したりすることがあります。
SSの流出の恐れがある場合は、「パワーフロック」で強制沈降、発泡が激しい場合は、「アワセンサー」で消泡して下さい。

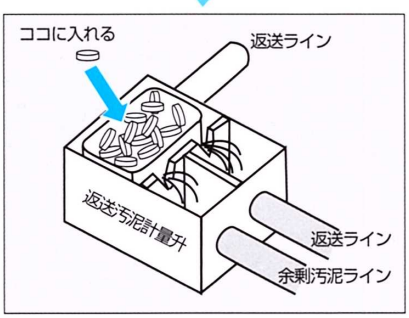
塩素系徐溶性駆除剤
バルハンターT-200　バルハンターST-50
特　長
●ばっ気槽の活性汚泥を傷めずに、確実な効果が得られ、処理水が濁りません。
●本品を市販の樹脂製カゴなどに入れ、返送汚泥の計量升で溶解させて下さい。計量升がない場合は、返送ラインの最終落ち口(ばっ気槽上部)に本品が入った樹脂製カゴを吊るして汚泥を直接接触させて下さい。
●ばっ気槽に到達するまでに、10秒以上の滞留時間を取れば、より効率良く糸状菌を駆除できます。

バルハンターT-200、ST-50による糸状性バルキングの解消

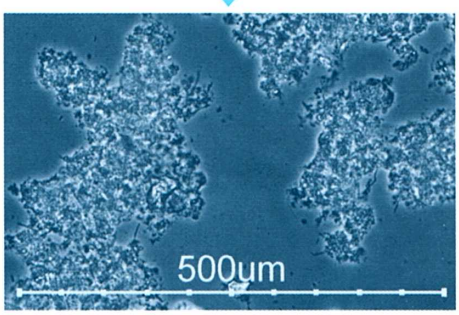
糸状性バルキング



薬剤投入場所



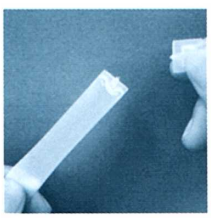
糸状性バルキングの解消

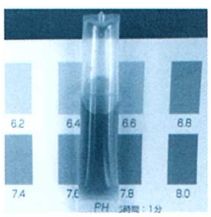


デイリーチェッカー　簡易水質分析キット

●各種水質を現場で簡単にかつ速やかに測定することができます。
●測定項目は目的に合せて6種類から選択できます。

銘　柄	測定範囲
pH	5.8～8.0
COD	0～100mg/L
亜硝酸	0.02～1mg/L
硝酸	1～45mg/L
アンモニウム	0～10mg/L
りん酸	0.2～10mg/L





●製品一覧表

品　名	性状	特　長	使　用　量	包装形態
ハイポルカＳ	粉末	好気性菌と通性嫌気性菌を配合したシーディング剤です。「ミクロフローラＣＮＰ」と併用することで、投入後７～１０日間で活性汚泥ができます。嫌気ろ床、接触酸化槽、膜分離型浄化槽（ＭＢＲ）の種付け、維持管理にもご使用頂けます。	●初期投入　150mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 （できれば１日 50mg/L ずつ、連続３日間で分割投入して下さい。） 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.15（kg/m³） ●維持管理　毎週１回、10mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.01（kg/m³）	５kg段ケース （5kg×１袋） 20kg段ケース （5kg×４袋）
ハイポルカＲ	粉末	有機物の分解に優れた有用菌を豊富に配合しています。負荷変動や高負荷運転のため浄化機能が低下した場合の機能回復剤としてご使用頂けます。		
ハイポルカＯ	粉末	高性能な油脂分解菌に油脂分解酵素を配合しています。レストラン、ホテル、食品加工場など油分の多い排水処理施設の維持管理や、機能回復剤としてご使用頂けます。		
ハイポルカＯＬ	液体	油脂分解酵素に油脂分解菌を配合しています。油脂分解酵素を主成分にしていますので、固形化した動物油などの液状化の促進や、汚泥の中に蓄積した油脂分の分解にも速効的効果を発揮します。また、液体品であるため、定量ポンプによる連続注入が可能です。	●ノルマルヘキサン抽出物質量（n-hex）がわかっている場合 投入量（L/日）＝排水量（m³/日）×n-hex濃度（mg/L）÷ 1,000 × 0.05 ●ノルマルヘキサン抽出物質量（n-hex）が不明の場合 投入量（L/日）＝排水量（m³/日）× 0.01 ★n-hex×濃度を 200mg/L で試算していますので、 現場の状況によって投入量を加減して下さい。	５Ｌポリ容器内装段ケース 20Lポリ容器内装段ケース
ハイポルカＫ	粉末	酸発酵に優れた通性嫌気性菌を配合した、嫌気消化槽のシーディング剤です。有機物を有機酸やアルコールに分解（液化）し、次のメタン発酵（絶対嫌気性菌による発酵）への繋ぎをスムーズにします。	●初期投入　100mg/L（嫌気消化槽容量基準）を嫌気消化槽に投入。 投入量（kg）＝嫌気消化槽容量（m³）× 0.1（kg/m³） ●維持管理　毎週１回、30mg/L（嫌気消化槽容量基準）を嫌気消化槽に投入。 投入量（kg）＝嫌気消化槽容量（m³）× 0.03（kg/m³）	20kg段ケース （10kg×２袋）
ハイポルカ・ニューＷＳ	顆粒	栄養剤を配合したシーディング微生物剤です。添加量の約 50％が速やかにＭＬＳＳに変換します。①新規の立上げ　②古くなった活性汚泥の作り直し③長期間休止時の維持管理用として、幅広くご使用頂けます。また、顆粒になっていますので、投入時の粉立ちが少なくなっています。	●初期投入　200～1,500mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.2～1.5（kg/m³） ●維持管理　毎週１回、50mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.05（kg/m³） ★膜分離型浄化槽（ＭＢＲ）のシーディングにはハイポルカニュー ＷＳはご使用頂けません。ハイポルカＷＢをご使用下さい。MLSS を 3,000mg/L に調整する場合、投入量は 6,000mg/L となります。	20kg段ケース （5kg×４袋）
ハイポルカＷＢ	粉末	フロック形成菌を豊富に配合しています。化学的凝集成分を配合していないため、膜分離型浄化槽（ＭＢＲ）のシーディング剤としてもご使用頂けます。糸状菌が異常繁殖している場合は、「バルハンター」で糸状菌を駆除した後にご使用下さい。		
ハイポルカＣＲ	粉末	高い脱窒素活性を有する脱窒素細菌群を配合しています。生物学的窒素除去プロセスにおいて脱窒素反応を加速することにより、窒素除去機能を安定させます。し尿処理場において、浄化槽汚泥比率が高くなり、低負荷状態になっている場合に使用することで処理が安定します。	●受入量に対して 100～300mg/L をばっ気槽に投入。 投入量（kg/日）＝し尿・浄化槽汚泥量（kL/日）× 0.1～0.3（kg/kL）	
渓流ＫＳＣ-20	液体	強力な酸化力で、酸性ガスとアルカリ性ガスの両方を分解します。（噴霧不可）	●対象物容量 1 m³ に対し、100～500mL添加。	20kg ポリ容器
渓流ＫＳ-20 医薬用外劇物	液体	強力な酸化力で、硫化水素ガスなどを速やかに分解します。（噴霧不可）	●対象物容量 1 m³ に対し、100～500mL添加。	20kg ポリ容器内装段ケース
渓流ＫＲ-20	液体	金属塩（Zn系）が硫化水素などを分解し、強力に捕捉します。（噴霧不可）		
渓流ＫＲ-20ＭＬ	液体	金属塩（Zn系）と静菌剤の相互作用で、長期持続性に優れています。（噴霧不可）	●対象物容量 1 m³ に対し、100～300mL添加。	
渓流ＫＡ-20	液体	アンモニアガスなどのアルカリ性ガスを速やかに分解します。（噴霧不可）	●対象物容量 1 m³ に対し、300～500mL添加。	
渓流ＫＮ-20	液体	脱臭作用が穏やかで、皮膚刺激性も少ない商品になっています。（噴霧可）	●対象物容量 1 m³ に対し、300～500mL添加。 ●固形物表面積 1 m² に対し、200～300mL散布または噴霧。	
渓流ＫＮ-20Ｆ	液体	渓流ＫＮ-20に柑橘系の植物エキスを配合しているので、爽やかな香りを残します。（噴霧可）		
渓流ＫＰ-20	粉末	金属塩（Fe系）が悪臭成分を強力に捕捉します。粉末なので水分の添加ができない対象物に適しています。	●対象物容量 1 m³ に対し 0.5～1.0kg添加。	20kg段ケース （5kg×４袋）
バルキス	液体	天然の植物エキスを主成分にしたマスキング剤です。悪臭による環境問題をスッキリと解決します。香りの好みに応じて、A、ハーブ、ミントから選択頂けます。（噴霧可）	●原液～約 100 倍希釈液を臭気の状況に応じて適量を直接散布または噴霧。	20kg ポリ容器内装段ケース
ミクロフローラＣＮＰ	粉末	３大必須栄養素の炭素源（ＢＯＤ）、窒素源（Ｎ）、リン源（Ｐ）をバランス良く配合した栄養剤です。	● 500mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.5（kg/m³） ★長期間、設備に排水が流入しない時は、１週間ごとに投入。 ★ミクロフローラＣＮＰ、Ｃは共に１kg の投入量で 0.4kg のＢＯＤ源として換算されます。	20kg段ケース （10kg×２袋）
ミクロフローラＣ	粉末	炭素源（ＢＯＤ）としての栄養剤です。		
ミクロフローラＮ	粉末	窒素源（Ｎ）としての栄養剤です。	●ミクロフローラＮ 投入量（kg/日）＝ＢＯＤ総負荷量（kg/日）※1 × 0.14 ●ミクロフローラＰ 投入量（kg/日）＝ＢＯＤ総負荷量（kg/日）※1 × 0.05 ●液体ミクロフローラＮＰ 投入量（kg/日）＝ＢＯＤ総負荷量（kg/日）※1 × 0.33	
ミクロフローラＰ	粉末	リン源（Ｐ）としての栄養剤です。		
液体ミクロフローラＮＰ	液体	窒素源（Ｎ）１５％、リン源（Ｐ）３％の割合に調整している液体栄養剤です。液体品であるため、定量ポンプによる連続注入が可能です。		20kg ポリ容器内装段ケース 1m³ コンテナ：1,150kg
パワーフロックＭ-127	粉末	沈降不良トラブル全般に、幅広く効果を発揮します（汎用）。	●ばっ気槽内活性汚泥量（kg）に対し、５～10g/日をばっ気槽に投入。 投入量（kg/日）＝ばっ気槽内活性汚泥量（kg）※2 × 0.005～0.01（kg/日） ★７日分の薬剤を準備して下さい。なお、ND-110は３日分をご準備下さい。 ★定量ポンプを用いる場合は、Ｍ-130は１～３％の水溶液、Ｌ-119は20～60倍希釈してご使用下さい。 ●Ｌ-119による糸状性バルキング抑制効果 投入量（kg/日）＝ばっ気槽内活性汚泥量（kg）※2 × 0.01（kg/日） ★３日分の薬剤を準備して下さい。	20kg段ケース （5kg×４袋）
パワーフロックＭ-130	粉末	水に完溶するので、定量ポンプによる連続注入が可能です。		
パワーフロックＮＤ-110	粉末	放線菌によるばっ気槽の発泡および沈殿槽でのスカム浮上現象を解消します。		
パワーフロックＬ-119	液体	高粘性汚泥などの沈降性を改善します。糸状菌の抑制効果を兼ね備えていますので、単独または「バルハンター」と併用で糸状性バルキングの根本原因の解消用としても使用できます。		20kg石油缶
パワーフロックＬ-200	液体	沈降不良トラブル全般に幅広く効果を発揮します（汎用）。また、液体品であるため、定量ポンプによる連続供給ができ、夜間及び休日の無人管理が可能です。	●ばっ気槽内活性汚泥量（kg）に対し、１～2g/日をばっ気槽に投入。 投入量（kg/日）＝ばっ気槽内活性汚泥量（kg）※2 × 0.001～0.002（kg/日） ★定量ポンプを用いる場合は、100～200 倍希釈してご使用下さい。	10kg ポリ容器内装段ケース
ニューフロックベース	粉末	助剤を核にして、沈降性の良いフロックを形成します。原水のＳＳ濃度が低い現場では、沈降性が飛躍的に改善します。	● 100～300mg/L（ばっ気槽容量基準）をばっ気槽に投入。 投入量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.1～0.3（kg/m³）	20kg段ケース （10kg×２袋）
バルハンターＧ	粉末	塩素系速溶性の駆除剤。ばっ気槽に直接投入するため、短期間に確実な効果が得られます。 「バルハンター」使用後、「ハイポルカＷＢ」を併用することで、早期の良好な活性汚泥の形成と糸状菌の再繁殖を防止することができます。	●ばっ気槽のＭＬＳＳの濃度を基準に薬剤使用量を算出して、１日１回の割合で、３日間連続して、ばっ気槽に均一に投入して下さい。 投入量（kg/日）＝（ばっ気槽容量m³ ＋沈殿槽容量m³）×投入濃度 ÷ 1,000 ＭＬＳＳ濃度（mg/L）：1000 / 2000 / 3000 / 4000 / 5000 / 6000 / 7000 / 8000 投入濃度（mg/L）：40 / 50 / 65 / 75 / 85 / 95 / 100 / 110	20kg段ケース （10kg×２袋）
バルハンターＴ-200	錠剤	塩素系徐溶性の駆除剤。ばっ気槽の活性汚泥を痛めずに、確実な効果が得られ、処理水が濁りません。本品を市販の樹脂製カゴなどに入れ、返送汚泥の計量升で溶解させて下さい。計量升がない場合は、返送ラインの最終落ち口（ばっ気槽上部）に本品が入った樹脂製カゴを吊るして、汚泥を直接接触させて下さい。	●市販の樹脂製カゴなどに入れ、返送汚泥の計量升で、ばっ気槽容量 1 m³ に対して１日あたり 20g の割合で溶解させて下さい。 まず、初日に80～100g/m³（4～5日分）を一度に仕込み、２日目から 20g/m³・日を目安に追加投入して下さい。 投入量（kg/日）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.02（kg/m³・日）× 10 日間	15kg段ケース （5kg×３袋）
バルハンターＳＴ-50	錠剤		●市販の樹脂製カゴなどに入れ、返送汚泥の計量升で、ばっ気槽容量 1 m³ に対して１日あたり 25g の割合で溶解させて下さい。 まず、初日に 100～125g/m³（4～5日分）を一度に仕込み、２日目から 25g/m³・日を目安に追加投入して下さい。 投入量（kg/日）＝ばっ気槽容量（m³）× 0.025（kg/m³・日）× 10 日間	
オーディライトＧ	粉末	天然成分が汚泥内微生物の活性を向上させ、微生物同士の自己消化を促進させます。	●ＭＬＳＳが 3,000mg/L未満の施設はＧ、ＭＬＳＳが 3,000mg/L以上の施設はＬをばっ気槽へ直接投入。 Ｇ　投入量（kg）＝総活性汚泥量※3（kg）× 0.002 Ｌ　投入量（kg）＝総活性汚泥量※3（kg）× 0.001～0.003	20kg段ケース （5kg×４袋）
オーディライトＬ	液体	弱い抗菌性を有するアミノ酸塩で、資化能力（有機酸の酸化・低分子化・無機化）が低下した微生物を減らし生き残った強い微生物で汚泥の自己消化を促進させ、余剰汚泥の発生を減少させます。		20kg ポリ容器内装段ケース
オーディライトＰ	粉末	強力な酸化力により、汚泥中の微生物を再ＢＯＤ化し、余剰汚泥の発生を減少させます。	●専用溶解器を用いて薬剤を溶解。 余剰汚泥の発生状況に応じて、最適銘柄をご提案できますので、弊社までお問い合せ下さい。	15kg段ケース （5kg×３袋）
オーディライトＴ-200	錠剤			
アワセンサーＨ	錠剤	泡の水滴で消泡成分が溶け出すセンサータイプの固形消泡剤です。（シリコン系）	●アワセンサーＨを付属のネットに入れ、発泡している場所の水面上で泡に接触するように設置して下さい。	7.2kg段ケース （200g錠剤×36錠）
液体アワセンサーＬＳ	液体	シリコン系の液体消泡剤です。	●ビーカーテストで用量を決定し、原液または 10 倍希釈して使用して下さい。 発泡原因に応じて、最適な銘柄から選択頂けます。	18kg石油缶
液体アワセンサーＬＥ	液体	アルコール系の液体消泡剤です。 膜分離型浄化槽（ＭＢＲ）にもご使用頂けます。		
デイリーチェッカー	チューブ	各種水質を現場で簡単にかつ速やかに測定することができます。	●目的に合せて下記６種類からご選択下さい。 銘柄：ｐＨ、ＣＯＤ、亜硝酸、硝酸、アンモニウム、りん酸	50 回分：化粧箱50本入り 150 回分：段ケース （化粧箱×３箱）

※1　ＢＯＤ総負荷量（kg/日）＝流入水ＢＯＤ濃度（mg/L）×流入水量（m³/日）÷ 1,000
※2　ばっ気槽内活性汚泥量（kg）＝ばっ気槽容量（m³）×ＭＬＳＳ（mg/L）÷ 1,000
※3　総活性汚泥量（kg）＝（ばっ気槽容量m³ ＋沈殿槽容量m³）×ＭＬＳＳ（mg/L）÷ 1,000

四国化成工業株式会社
幕張支社：千葉県千葉市美浜区中瀬1-3.MTG B-16　☎ 043-296-1665
大阪支社：大阪府吹田市豊津町２２番６号　☎ 06-6380-4112
吉成事業所：徳島県徳島市応神町吉成１２７番地　☎ 088-641-4111
http://www.shikoku.co.jp/

代理店